

Ⅱ 相談状況

令和3年度の相談受付件数は7,703件(前年度7,233件)で前年度比106.5%である。

相談種別で最も多いのは養護相談3,234件で、そのうち児童虐待相談が2,410件(養護相談全体の74.52%)である。

次いで障害相談が3,491件、うち知的障害相談が3,405件(障害相談全体の97.54%)となっている。

経路別受付の状況は市町村(福祉事務所も含む)、家族・親戚からのものが大多数である。

(図2参照)

また、処理別状況は助言指導が4,929件(面接指導件数の90.34%)と圧倒的に多く、

児童施設入所・通所は109件(総処理件数の1.4%)となっている。(図3参照)

図1 相談別受付件数

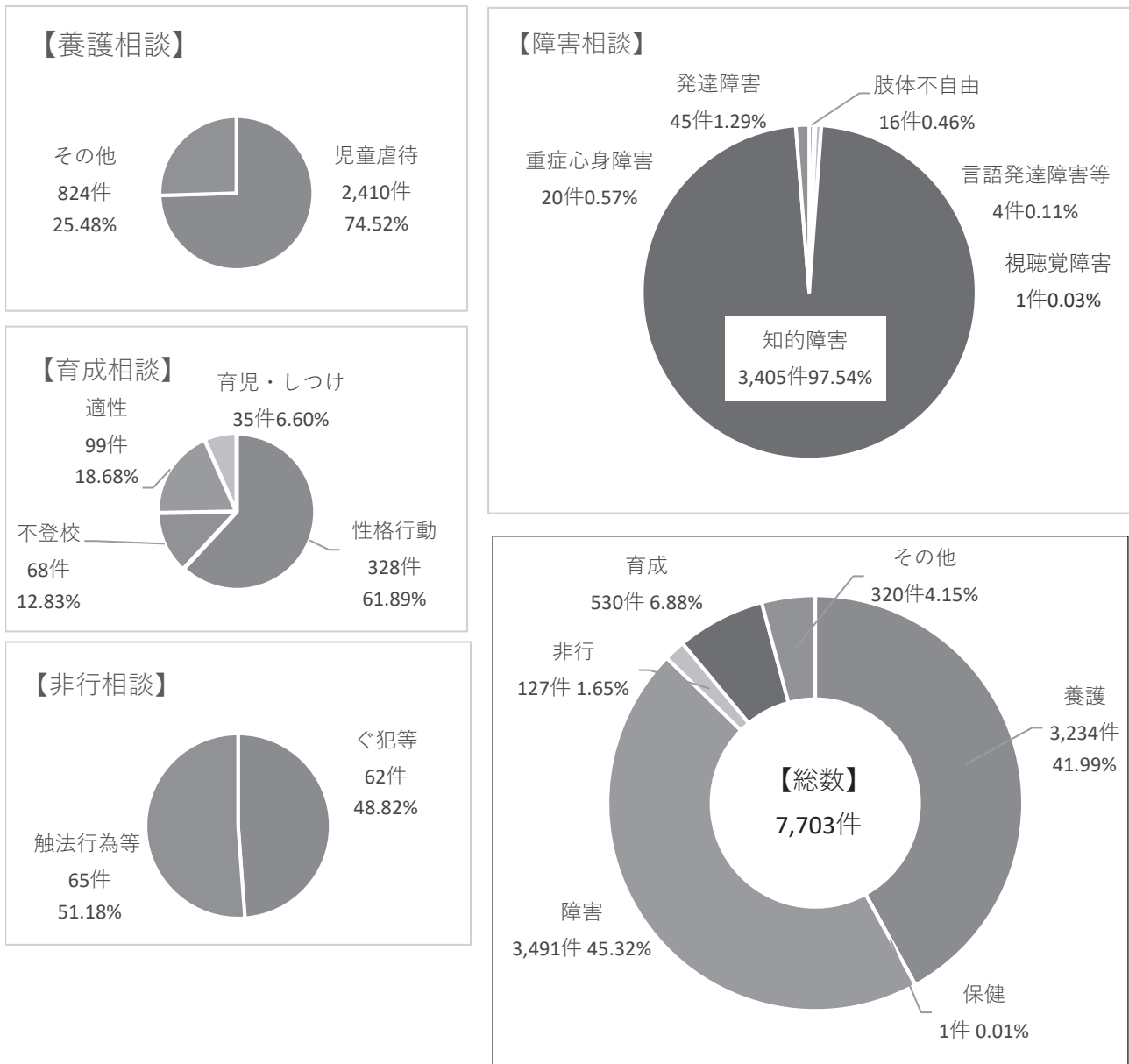


表1 相談種類別受付状況

		中央		西濃		中濃		東濃		飛騨		計	
		件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
養護	児童虐待	1,065	32.8	398	30.5	532	34.4	281	25.6	134	26.5	2,410	31.3
	その他	337	10.4	190	14.5	167	10.8	65	5.9	65	12.8	824	10.7
	保健相談	0	0.0	0	0.0	1	0.1	0	0.0	0	0.0	1	0.0
障害	肢体不自由	8	0.2	3	0.2	2	0.1	3	0.3	0	0.0	16	0.2
	視聴覚障害	0	0.0	1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
	言語発達障害等	0	0.0	0	0.0	3	0.2	0	0.0	1	0.2	4	0.1
	重症心身障害	11	0.3	2	0.2	6	0.4	1	0.1	0	0.0	20	0.3
	知的障害	1,417	43.7	531	40.6	673	43.6	571	52.0	213	42.1	3,405	44.2
	発達障害	6	0.2	7	0.5	2	0.1	26	2.4	4	0.8	45	0.6
非行	ぐ犯等	24	0.7	13	1.0	15	1.0	8	0.7	2	0.4	62	0.8
	触法行為等	39	1.2	11	0.8	6	0.4	7	0.6	2	0.4	65	0.8
育成	性格行動	132	4.1	61	4.7	47	3.0	47	4.3	41	8.1	328	4.3
	不登校	10	0.3	19	1.5	16	1.0	12	1.1	11	2.2	68	0.9
	適性	52	1.6	32	2.4	9	0.6	4	0.4	2	0.4	99	1.3
	育児・しつけ	6	0.2	6	0.5	10	0.6	7	0.6	6	1.2	35	0.5
	その他	139	4.3	33	2.5	57	3.7	66	6.0	25	4.9	320	4.2
	計	3,246	100.0	1,307	100.0	1,546	100.0	1,098	100.0	506	100.0	7,703	100.0
	前年度計	3,032		1,149		1,421		1,163		468		7,233	
	前年度比(%)	107.1		113.8		108.8		94.4		108.1		106.5	

図2 経路別受付件数

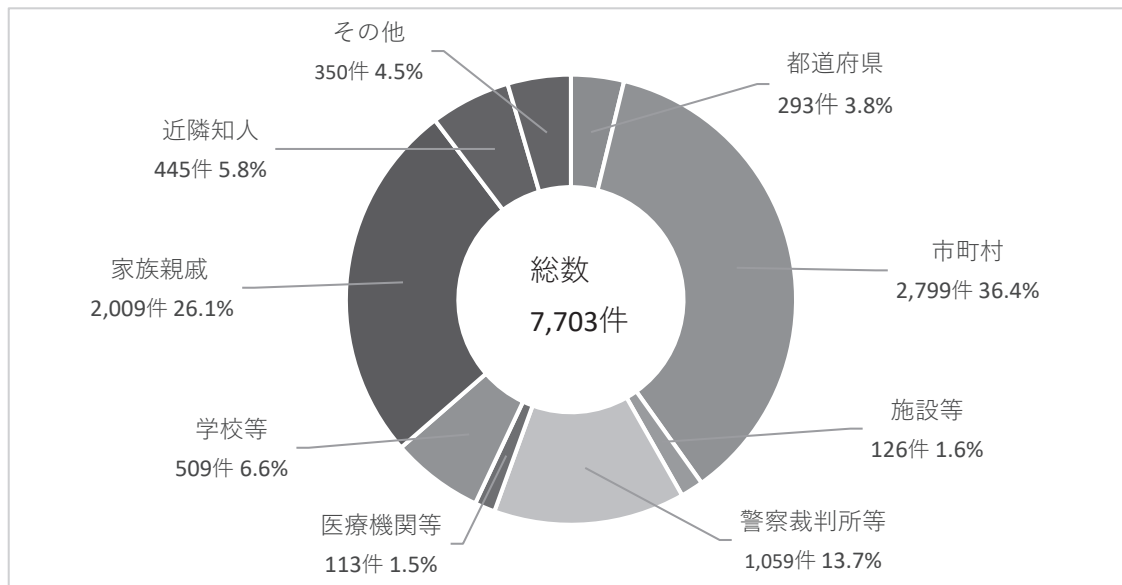
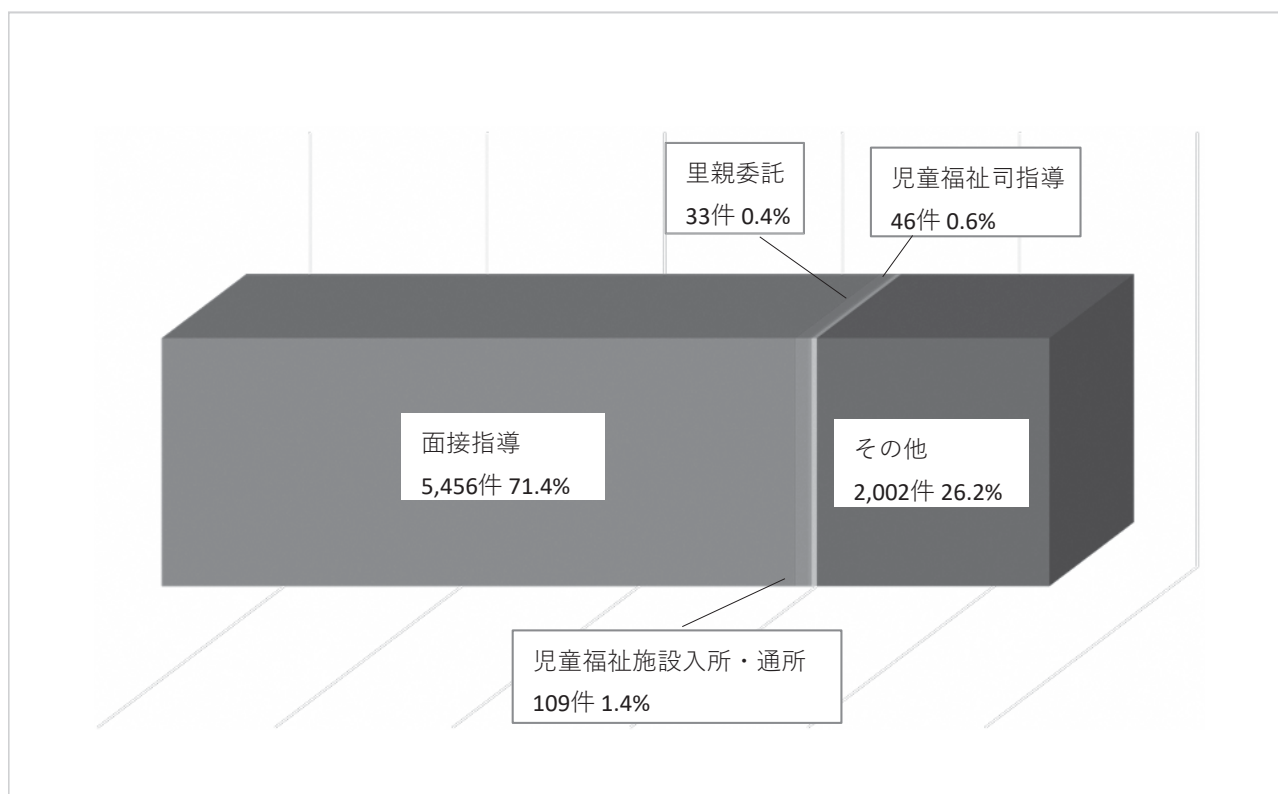


図3 処理別件数 【処理件数7,646件の内訳】



【面接指導5,456件の内訳】

助言指導	4,929	90.34%
継続指導	447	8.19%
他機関あっせん	80	1.47%

【その他2,002件の内訳】

児童委員指導	0	0%
児童家庭支援センター委託	15	0.75%
市町村送致	82	4.10%
福祉事務所送致	41	2.05%
訓戒・誓約	44	2.20%
指定医療機関委託	0	0%
家庭裁判所送致	2	0.09%
障害児施設への利用契約	29	1.45%
その他	1,789	89.36%

図4 年度別・相談種類別受付件数の推移（保健相談は『その他』に含む）

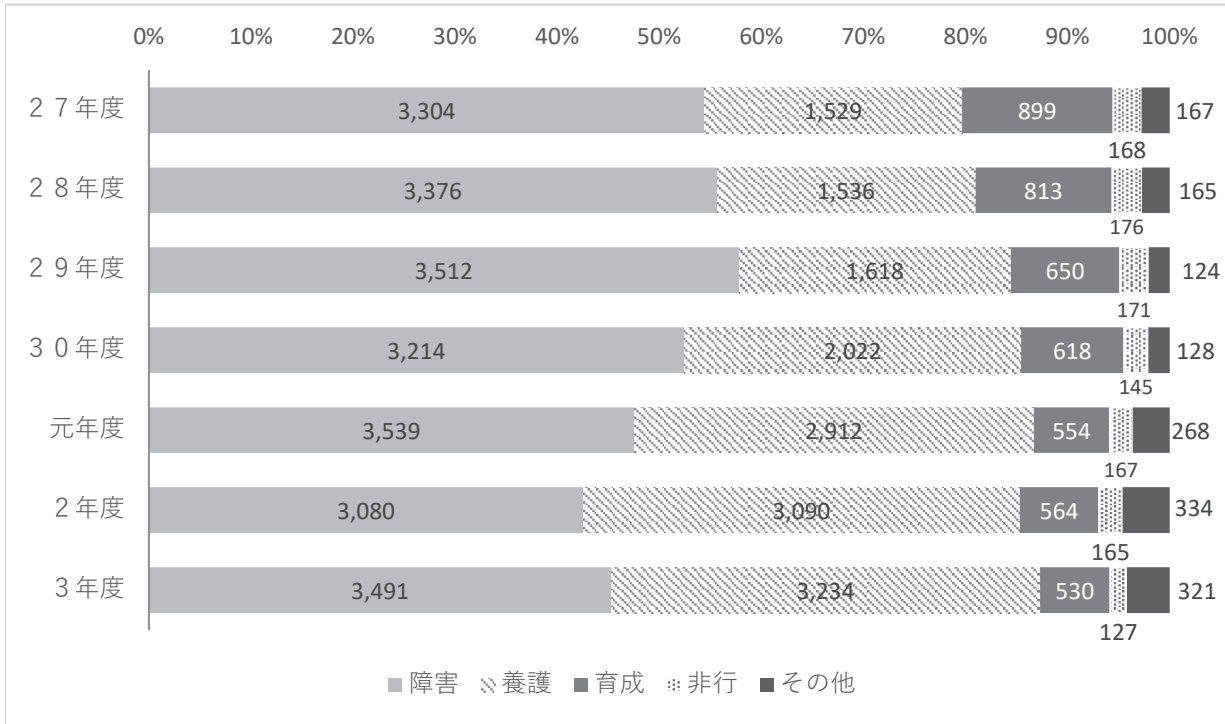
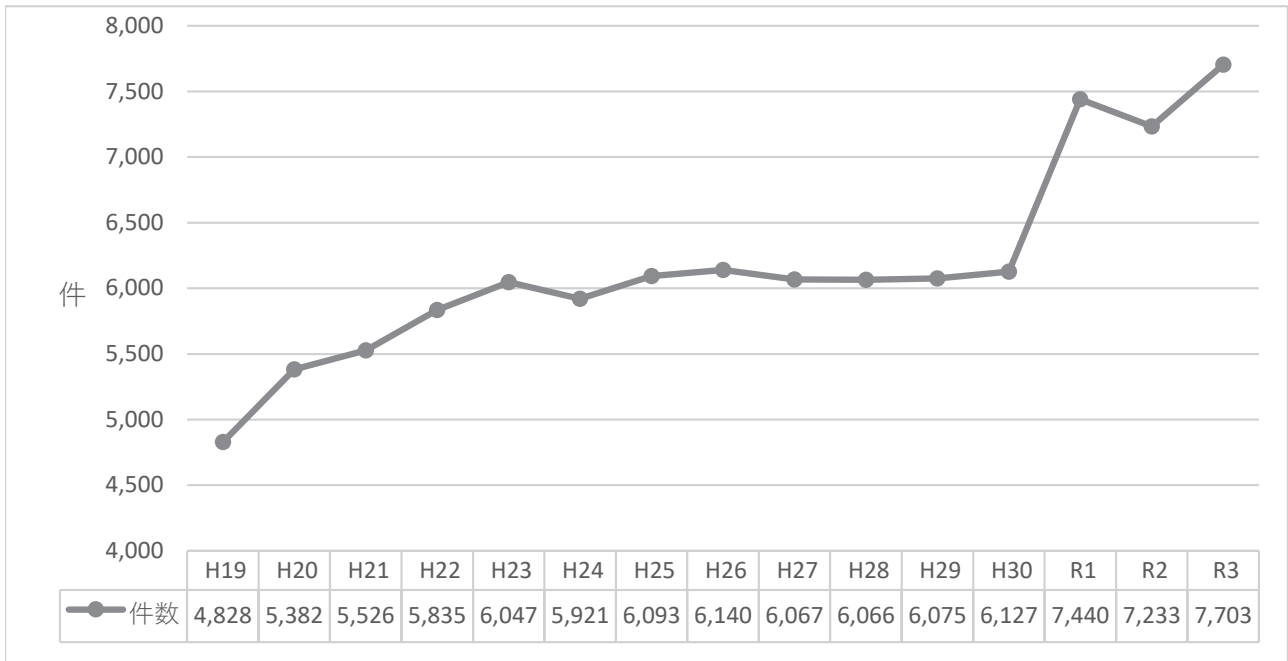


図5 受付件数の推移



養護相談の理由別対応状況(虐待)

令和3年度の養護相談の理由別処理件数は、巻末の福祉行政報告例(第49表)に記載。
その養護相談(理由別)のうち、虐待相談の経路・虐待者・被虐待者の年齢・相談種別処理については次のとおりである。

表2 虐待相談の経路

種別 センター別	都道府県	市町村	児童福祉施設等	警察等	保健所・医療機関	学校等	家族		親戚	近隣・知人	児童本人	その他	計
							虐待者本人	虐待者以外					
							中央	78					
西濃	11	68	3	132	6	70	26	9	1	40	22	12	400
中濃	19	134	12	138	10	115	10	26	3	32	11	27	537
東濃	11	73	2	86	10	30	11	17	2	20	12	11	285
飛騨	8	11	2	28	4	25	6	6	3	24	5	0	122
計	127	407	34	793	54	379	64	94	23	275	70	70	2,390

表3 虐待相談の主な虐待者

種別 センター別	虐待者					計
	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母親	その他	
中央	411	94	496	7	38	1,046
西濃	170	23	193	2	12	400
中濃	277	20	203	8	29	537
東濃	103	22	126	0	34	285
飛騨	51	1	61	0	9	122
計	1,012	160	1,079	17	122	2,390

図6 被虐待児の年齢・相談種別(年齢区分下の数字は各区分の総件数)

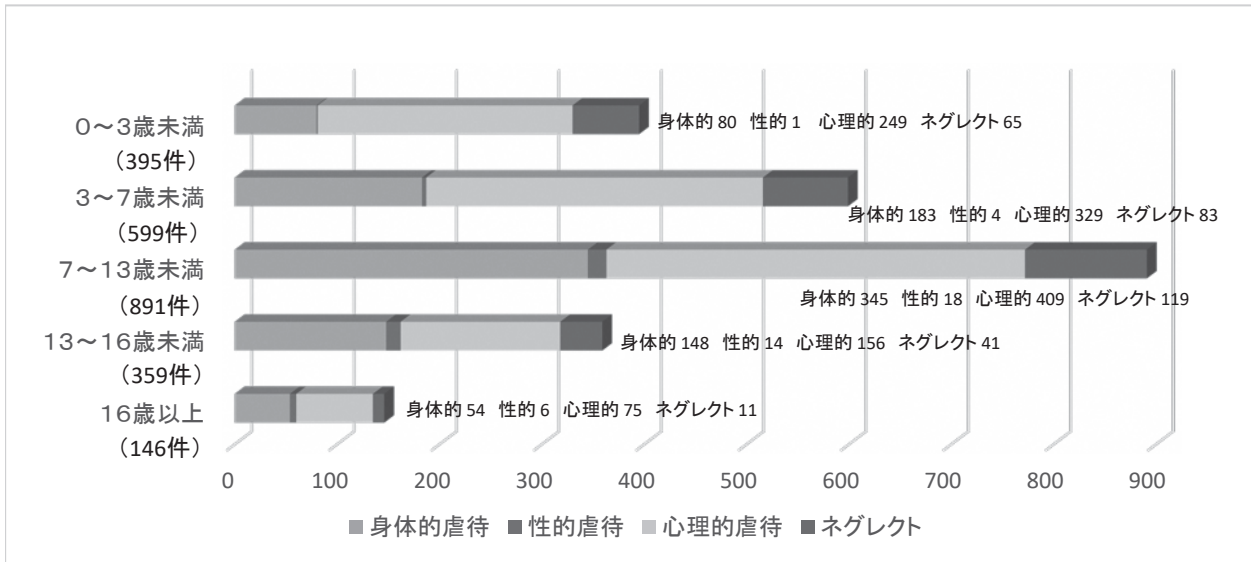


表4 虐待相談の対応

施設入所	施設内					里親委託	面接指導(助言指導、継続指導等)	児童福祉司指導	その他	合計
	児童養護施設	乳児院	児童自立支援施設	児童心理治療施設	その他					
60	44	5	0	8	3	8	2,201	34	87	2,390

表5 虐待相談の対応件数の推移

年度		H28	H29	H30	R1	R2	R3
全 国		122,578	133,778	159,850	193,780	205,044	(速報値) 207,659
岐 阜 県		1,004	1,095	1,405	2,280	2,268	2,390
内 訳	中 央	396	397	605	1022	1,051	1,046
	西 濃	188	189	218	387	347	400
	中 濃	187	231	274	475	481	537
	東 濃	149	193	202	286	282	285
	飛 騨	84	85	106	110	107	122

図7 虐待相談の対応件数の推移(岐阜県)

